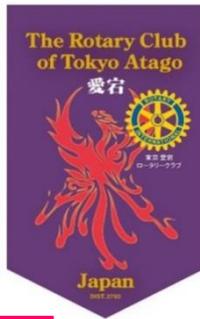


No. 16 2014/1/21

# WEEKLY REPORT 2013~2014



## 東京愛宕ロータリークラブ

会長 尾関勇 ・ 幹事 佐藤秀樹  
 副会長 石渡美奈 ・ 副会長 片山謙次  
 副会長 波多野まみ  
 例会場 東京アメリカンクラブ  
 例会日 毎週火曜日 8:00~

■2014年1月21日(火)  
 本日のイニシエーションスピーチ  
 東京愛宕ロータリークラブ 会計  
 橋場株式会社  
 代表取締役 橋場一晃 会員

### ~四つのテスト~

1. 真実かどうか
  2. みんなに公平か
  3. 好意と友情を深めるか
  4. みんなのためになるかどうか
- 言行はこれに照らしてから行うべし

### ■1月14日(火)例会 会長挨拶 会長 尾関 勇

本日は、新たに入会の意思を頂いた方が3名もいらっしゃるということで、加藤さん、若尾さん、島津さん、ありがとうございます。こんなにジョインをする方が多く来て頂けるのは嬉しい限りでございます。

そして、日頃より大変尊敬しております隈研吾先生に卓話においていただきました。朝の例会ということで大分驚かされていたかと思いますが、山のように卓話の依頼が来るので、すごく無礼なことをお願いしてしまったと思うのですが、本日タイミングが合いました。そして多くの方にもいらしていただき、本当によかったと思います。実は昨年新聞で、前駐米大使の藤崎一郎さんが日本のことを端的に語っていることがありまして、日本を代表する中にお茶、お花、俳句、歌舞伎もいと、宮崎アニメ、春樹の小説、ジュンコやイッセイのファッション、千住博の絵、そして次郎の寿司、新幹線・・・とあって、隈や安藤の建築というのがありました。それほど、世界的には大変著名な方であると同時に、日本を代表する他の方にはないスタイルの作品を作り出されている。本日は膨大な資料をご用意いただきましたので、ぜひ皆さんにも勉強していただきたいと思っております。

話は変わりますが、私たちは、世界の中で、私たちがどのようなスタイルで、どのような個性を持つていくのかテーマで話してきましたし、我々のこれからの奉仕プロジェクトをどのようにしていくのか。ちょうど山田会員からメールがあり、インドのポリオ撲滅宣言、ありがとうございました。これはビル・ゲイツさん、会員はじめ、ロータリアンがみなで取り組んでいることですが、残念なことに、パキスタンで非常に紛争が多く、ポリオのワクチン接種が妨害されている。根絶が宣言できない状況、非常に残念なことだと思っております。元々、同じ国ではあったのですが、宗教的な違い等から大変犬猿の仲になっているインドとパキスタンであります。インドに旅行すると、隣同士でもすぐに連続していきません。そういったことから、ポリオのワクチン接種にも影響が出ている、ロータリアンで何かできることはないかと考えてしまいました。また、今年スコットランドで独立のための住民投票が行われるということと記憶しております。最初、イギリス議会は却下しておりましたが、認めざる負えないとなり、可決される見通しが非常に高く、そうなるとスコットランドとその他の3地域が2つに分かれてしまう。国が2個になるのか。それだけ、小さな島国に見えるUKも、民族の違いが根強くあるのかと思えました。日本は奇跡的に素晴らしくまとまっている国であります。諸外国の様々な問題に目を向けて、奉仕プロジェクトや地区大

会に進んでいきたい、我々も何かできることをやっていきたい。スポンサークラブなしのRC、批判ももちろんありますが私が一手に引き受けますので、返ってしごらみがない分やりたいことをやらせていただこうかなと思います。新たに加わる方々も含めて、邁進していきたいと思っております。

### ■ バナー交換：川崎高津RC 佐藤哲夫様

~川崎高津RCバナーの由来~

高津にある影向寺の発掘品の中でも、最も古い奈良時代様式の鏡瓦を中央に、両脇へ多摩の横山を配し、マークを太陽になぞらえて、バナーの象徴とされたそうです。早朝よりのご来会、誠にありがとうございました。



### ■ 本日の卓話

隈研吾建築都市設計事務所主宰  
 東京大学教授 隈 研吾 様

今日は時間も限られていますので、お話を単純化して震災をきっかけにしてデザインの変化が加速されるお話をしたいと思います。3年前に震災がありまして、これが出材が変わるんではと私は思っています。というのも、この1755年は、リスボンで大地震が起き、これで所謂近代、グローバルな時代が始まったと言われております。人間は6万人が亡くなり、今の時代の1/10の人口のため、今でいう60万人くらいが亡くなっている計算になります。これで、一気に近代科学、工業、産業あるいは近代の政治、フランス革命はこの少し後ですが、そういうことが始まって、世界が一つになっていく時代がこれから来ました。今回、何がどんな時代が来るのか、というのが我々世代の大きなこれからの課題が突き付けられたということでございます。その新しい時代は、簡単に私の答えを言うてしまうと、「場所の時代」ということです。場所の特性をどう生かしていくか。場所の力を引き出し、場所の経済、場所のエネルギー、そんな

時代が始まるんじゃないかと思っています。もう一つ大きな災害、シカゴの大火、19世紀末にあり、これはシカゴのほとんどが燃えてしまいました。しかしこれをきっかけにアメリカは大きく変わり、工業のアメリカ、建築も欧州を追い越したのがこれが起こった後。これも大災害が世界を変えた例なんです。我々はこれからどう行くか。私は場所の力と行ったときに、何を引き出してくるのかが、建築の大きなテーマになってくると思っています、まず自然。そして場所の職人の力を引き出していきたい、そういうことをいつも考えています。そういうやり方で世界にも提案しています。

石巻の作品、この主役は川、自然という作り方をしました。中に建物があります。こちら東北で、ほぼ地元の材料で作っています。和紙も石も地元の職人、木も裏山の杉、ということで、ほとんどを地元の材料で作ると、地元の人たちも喜ぶ。デザインはやはり世界に通用するものを作る。下関の建物、この材料は土で、日干し煉瓦(adobe)と言い、焼くのではなく乾かすだけで建物を作る技術が、山口県の豊浦に残っていました。職人はとうに亡くなっていたので、その技術を再現し、この建物は空調が不要で、全て土がコントロールしてくれます。そういうことも、地元の材料を使うとできるんです。次は、フランク・ロイド・ライトの大谷石で作った建物、古い石蔵を改装してそれに新しい鉄の技術を加えて作った建物。次は竹。私は中国での仕事がかかり多いのですが、きっかけになったのが、竹の家を万里の頂上に作ったのがきっかけ。2002年に中国に受けたんです。意外に中国の若い世代が地元の材料が好きで、北京オリンピックの時に、ここで国のCMを撮影してくれ、毎日のように中国中で放映されたおかげで、中国から依頼が来るようになりました。これは日本だと、吉永小百合さんのCMで有名になりました。日本企業は尖閣の問題がある度に契約がキャンセルされたと言いますが、私の場合は、面白い国家プロジェクトも頼まれています。文化と産業、中国のすべてを見せるというアメリカ・フリーダムタワー内で出店を頼まれ、あと2年でオープン、また少林寺拳法発祥の地の美術館も頼まれています。木の技術、世界中に木はありますし、日本の技術を使えば、世界一の木の建築ができると信じて、色んな場所で作っています。こ

れは飛騨高山の特殊な木工技術を使ったイタリアのパピリオン。この技術で愛知県の小さな美術館を作りました。高知の町おこしで、木の橋を。橋自信をミュージアムにしました。茅葺のホテルを作り、朝市もやっている。スターバックスも、大宰府の実験店舗を建てましたが、インテリアに見える木の骨組みで建物を支えています。

東京でも歌舞伎座の他に、浅草の観光センターができました。主構造は鉄、その上に木を。次が長岡市役所。土間をテーマに提案し、暖かいスペースを持つ市役所にしようと言ってくれ、材料はなるべく15km以内の越後杉を使おうと。すると市役所内の雰囲気がとても暖かく、人が集まってくるように。屋台も最初から用意しておき、空間とイベントを一緒に作りました。今も市民が、特に子供達とお年寄り。子供たちは宿題をしに、お年寄りは病院に行く代わりにここに来るといった市役所ができ、全国の公共建築のモデルケースになっています。材料に地元の和紙や土。そうすると地元の方々が喜んでくれることがわかりました。

歌舞伎座も、東京銀座の小吹町にあった建築を作りたいと思いい、皆が入れる場所を多くしました。広場を作り、地下鉄と接続し、ガラス張りの店舗、外から入れるように。すると地下の防災広場での出店の売り上げが大変良く、今の若者が何を求めているかということ、「地元でみんなで集まれる楽しい場所が欲しい」という時代なのかと。ヨーロッパコンペで同じテーマで出すと、またヨーロッパの人たちも同じものを求めているのではと思います。提案は、ミュージアムは今後人々のたまり場になるので、音楽会や劇をやろうと、したところ、特にコンペで選ばれた理由だと言っていました。

世界のような場所で仕事をしているのは、みんな違うからだと思います。例えば安藤さんたち世代は、世界どこでも安藤忠雄ブランドで、コンクリート打ちっばなしの建物でいこうという感じですが、僕らの時代は、それぞれの場所で違った方が面白いんじゃないか、それぞれの場所の材料とかあるいは周りの環境も違うのだから、違った方が面白いのではないかと提案すると、向こうも、「今回はぜひ新しい隈を見てみたい」という人が増えている。それぞれのプロジェクトが違う、地元に着したものが求められている時代が来ているのではと思います。それが、今日の私の結論でありまして、これからは、デザインもビジネスも、それぞれの場所の時代が始まるんじゃないかと思いい、これからは場所に見合ったものを作るのがデザイナーの使命ではないかなと思いい、私の今日の話は終わりにしたいと思いいます。

◆◆ 前回のニコニコBOX ◆◆

¥18,000 累計総額 ¥45,290

- ・隈先生、以前隈先生の設計されたビルに入っておりました、本日は宜しくお願ひ致します。(片山)
- ・隈先生のお話し楽しみです。また、たくさんの方のゲストの方に来ていただきまして感謝です！(佐藤ますみ)
- ・おはようございます。隈研吾様の講演楽しみにしています。(柳)
- ・隈先生、本当に来ていただきありがとうございます！！(山田)
- ・本日は入会申し込みの3名の方がいらしてニコニコ！
- ・そして隈先生の卓話ありがとうございます。(尾関)
- ・本日の卓話楽しみです。寒いですが、元気で頑張っ参りましょう！(波多野)
- ・隈先生のお話し楽しみです。(橋場)
- ・前回忘れました。今年もよろしくお願ひします。(関端)
- ・強い寒波ですが、皆様ご自愛ください。(塩沢)
- ・本日は娘の受験、本命です。幸ありますように。函館の桜は遠すぎる。(齋藤)
- ・あけましておめでとうございませう！(丸山)
- ・本年もよろしくお願ひします！(Alex)

■ 1月・2月のプログラム

- 1/28 (火) 卓話：梅田悦生様 (東京恵比寿RC。医学博士、赤坂山王クリニック院長、レコール・デュ・ヴァン創業者)
- 2/4 (火) 学校法人インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢 (ISAK) 河野宏子様
- 2/11 (火・祝) 規定により休会
- 2/18 (火) 卓話：未定
- 2/25 (火) 地区大会に振替のためなし
- 2/26 (水)・27 (木) 地区大会



国際ロータリー第2750地区

東京愛宕ロータリークラブ

<http://atagorotary.com/>

<事務局>

〒106-0044 東京都港区東麻布2-15-2 アンゼン・パックスビル2階

TEL: 03-3568-3827 / FAX: 03-3568-3829 / E-mail: office@atagorotary.com

広報戦略委員長 柳 邦明

